

災害対策委員会アンケート調査集計結果(H30.11月実施、H31.1月に追加実施)

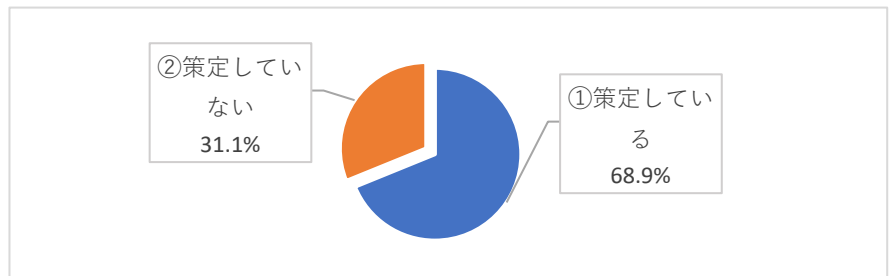
対象:滋老協加入 100施設 回答51施設

回収率 61.0%

61 | 100

1-Q1. 非常災害対策計画

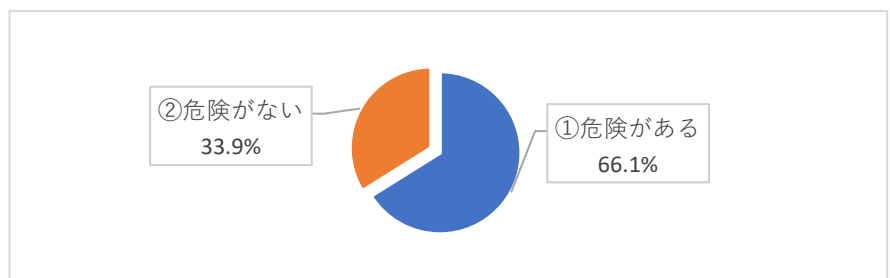
項目	回答数
①策定している	42
②策定していない	19
計	61



滋老協全体でも非常災害対策が策定できている施設は42施設にとどまり、全体の42%しかない。しかし、策定していない19施設も、ほぼ策定予定がある、あるいは検討中ということであった。

1-Q4. 立地条件の危険

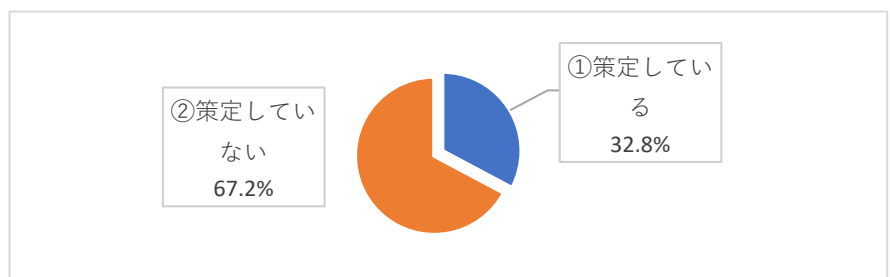
項目	回答数
①危険がある	39
②危険がない	20
計	59



未回答2。回答していただいた施設のうちでも、69%以上の施設に立地条件の危険があることがわかった。回答していただいていない施設を含めたとしても、半数以上の施設には立地条件に危険があるのではないだろうか。

2-Q1. BCPを策定していますか

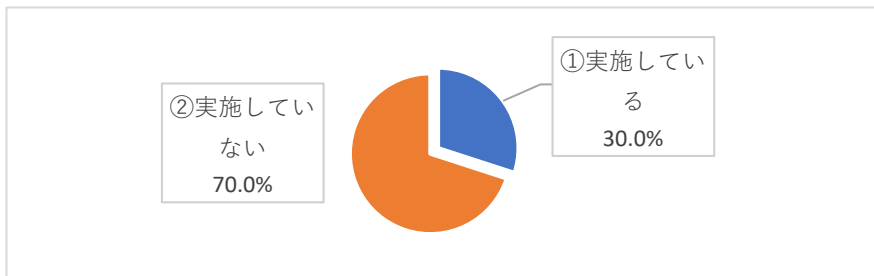
項目	回答数
①策定している	20
②策定していない	41
計	61



滋老協全体でもBCPが策定できている施設は20施設にとどまり、全体の20%しかない。ちなみに、H27年度に実施したBCPアンケートでは、当時7施設のみが策定できており、21施設からは「策定中」の回答を得ている。

2-Q2-1. BCPを策定、訓練実施

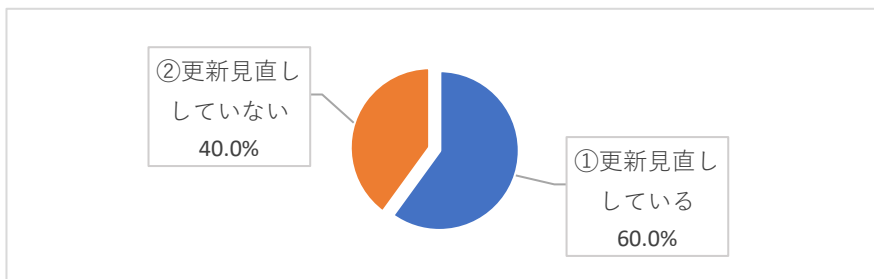
項目	回答数
①実施している	6
②実施していない	14
計	20



BCPが策定できている施設でも、BCP訓練が実施できている施設は約30%にとどまった。

2-Q2-2. BCPを策定、更新・見直し

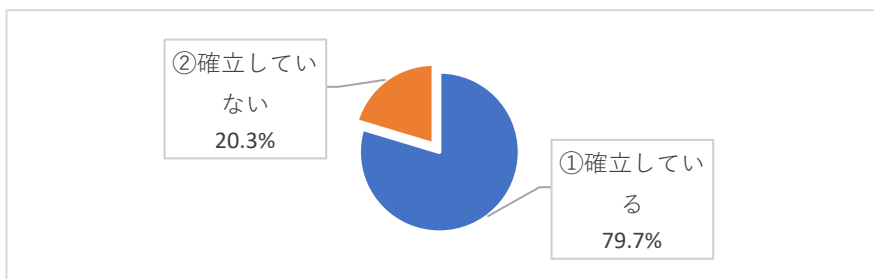
項目	回答数
①更新見直ししている	12
②更新見直ししていない	8
計	20



BCPが策定できている施設で、6割の施設が更新・見直しできていることがわかった。

3-Q1. 職員参集方法・連絡体制

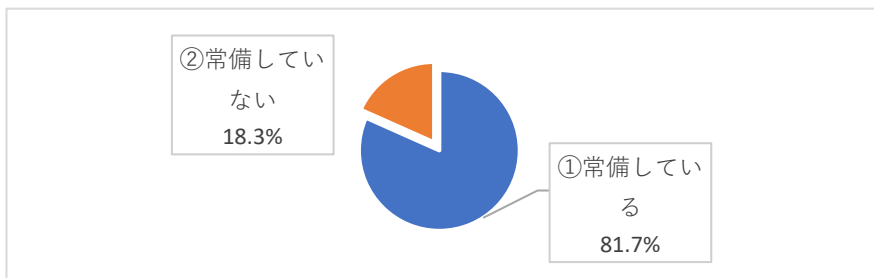
項目	回答数
①確立している	47
②確立していない	12
計	59



回答いただいた施設のうちほぼ8割は、職員の参集方法や連絡体制が確立している。

4-Q1. 発電機について

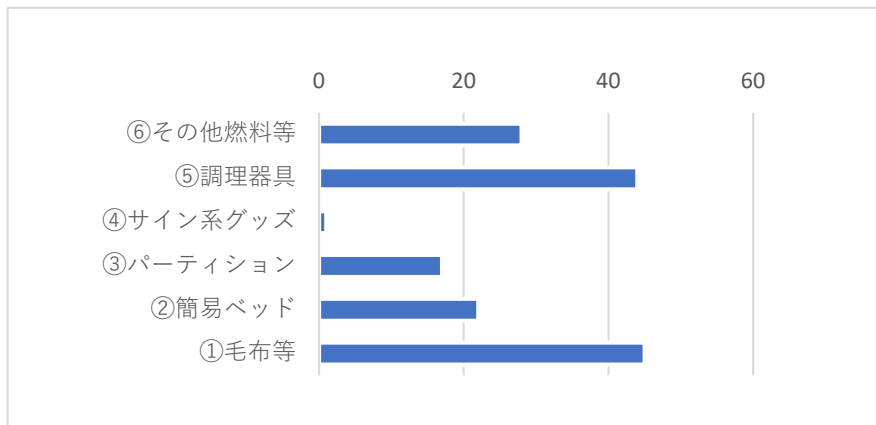
項目	回答数
①常備している	49
②常備していない	11
計	60



未回答1。数や程度の差はあるが、回答いただいた施設のうち8割以上が常備している。

4-Q5. その他備品等備蓄

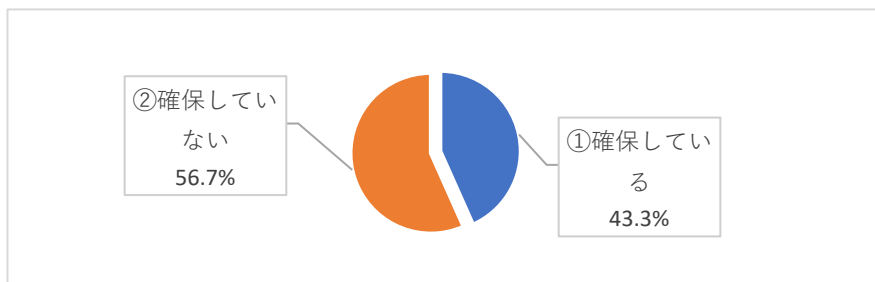
項目	回答数
①毛布等	45
②簡易ベッド	22
③パーティション	17
④サイン系グッズ	1
⑤調理器具	44
⑥その他燃料等	28



毛布等や調理器具は多くの施設で常備できているが、簡易ベッドやパーティションが常備できている施設は回答していただいた施設の中でも少なかった。

4-Q6. 断水時の水源について

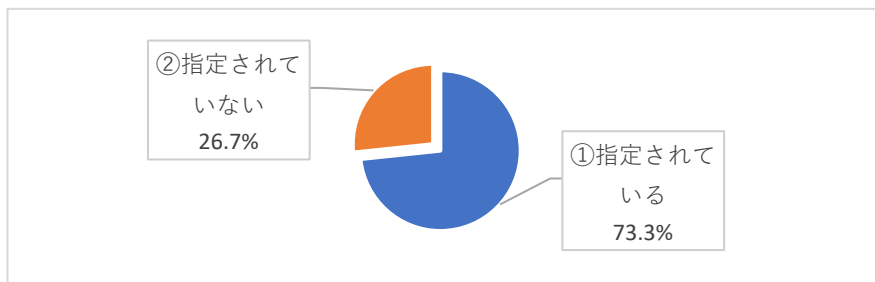
項目	回答数
①確保している	26
②確保していない	34
計	60



未回答1。立地により、水源の確保の方法が違っていた。

5-Q1. 福祉避難所について

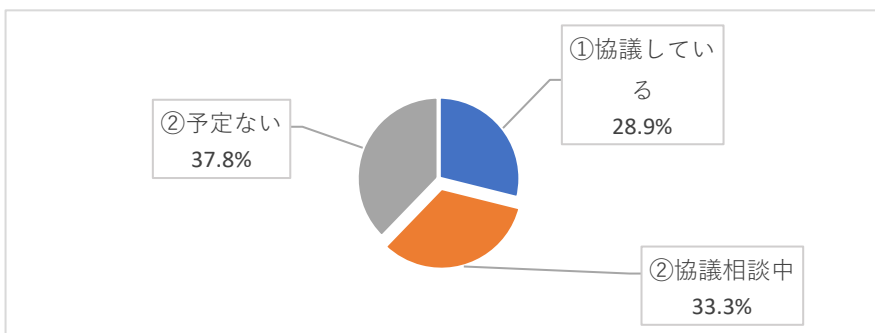
項目	回答数
①指定されている	44
②指定されていない	16
計	60



未回答1。7割以上の施設が福祉避難所に指定されていることがわかる。指定されていても、参集基準がなく、発電機も常備されていない施設もあり、今後の課題である。

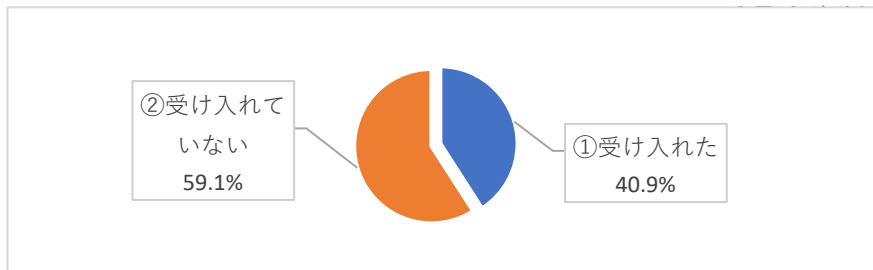
5-Q2. 指定-自治体との連携協議

項目	回答数
①協議している	13
②協議相談中	15
②予定ない	17
計	45



5-Q3. 指定-依頼受け入れについて

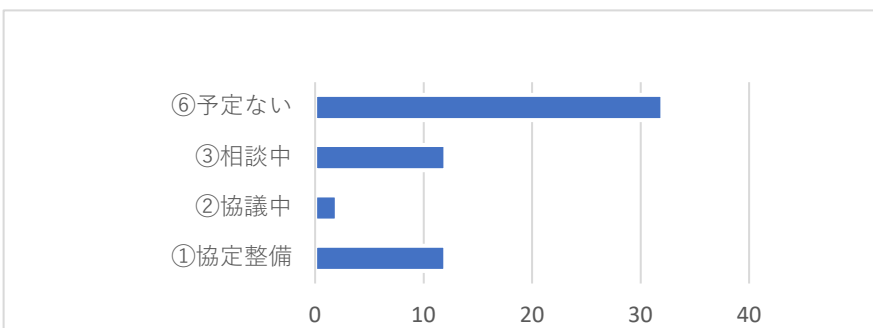
項目	回答数
①受け入れた	9
②受け入れていない	13
計	22



福祉避難所に指定はされているが、自治体からの依頼もないという施設が多かった半面、実際に受け入れ、対応された施設があり、今後の参考にさせていただきたい。

6. 自治会との連携協定

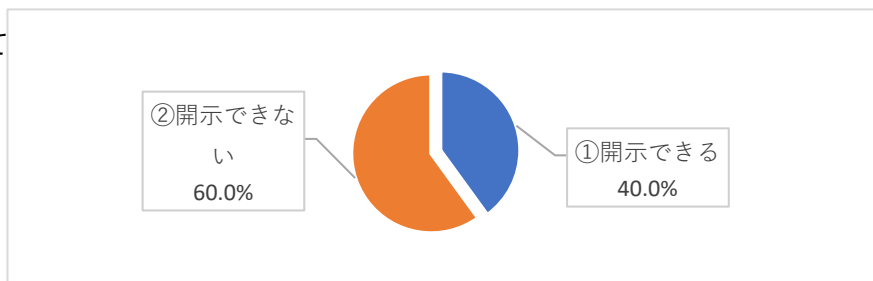
項目	回答数
①協定整備	12
②協議中	2
③相談中	12
⑥予定ない	32



自治会との協定を整備している施設は12施設にとどまり、防災の観点からの地域づくりが課題である。

7-Q1. BCP策定施設、開示について

項目	回答数
①開示できる	6
②開示できない	9
計	15



BCPを策定している施設の内、有効な回答は15施設で、そのうち開示できると回答した施設は6施設だった。